

日野町くらし安心ひとづくり総合戦略 施策検証結果報告書（平成30年度）



令和元年10月

日野町総合計画懇話会

目 次

1. はじめに.....	1
2. 検証方法.....	2
3. 基本目標別検証結果.....	6
4. 施策検証結果一覧.....	16
基本目標（1）まちのたからで雇用を創る.....	17
基本目標（2）出会いと発見で人の流れを作る.....	19
基本目標（3）結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる.....	22
基本目標（4）くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる...25	
5. 施策別検証内容（施策検証シート）.....	28
基本目標（1）まちのたからで雇用を創る.....	29
基本目標（2）出会いと発見で人の流れを作る.....	39
基本目標（3）結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる.....	50
基本目標（4）くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる...65	
6. 地方創生交付金事業の検証.....	79
7. 検証のまとめ.....	82
1）昨年度の検証と比較して.....	83
2）量的（KPI）検証のまとめ.....	87
3）質的（取組内容）検証のまとめ.....	88
4）基本目標別のまとめ.....	89
5）まとめ.....	92
8. 資料編.....	97
1）用語解説.....	98
2）総合計画懇話会の開催.....	100
3）総合計画懇話会委員名簿.....	100

1. はじめに

1) 総合戦略の検証の実施について

まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）に規定される市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略として、平成27年10月に策定された「日野町くらし安心ひとづくり総合戦略」（以下「総合戦略」）では、日野町の人口が2060年には約15,900人に減少すると推計（国立社会保障・人口問題研究所推計）されているなか、「日野町人口ビジョン」で見通している将来展望人口、18,000人台の維持と人口構造の安定をめざすため、平成27年度からの5年間の基本的な方向と施策の取り組みを定めています。この総合戦略を進めることにより、安心して暮らせるまちをつくりそのまちの魅力で交流人口および定住者人口を増やし、持続的に発展する日野町をつくることを目指しています。

このことから毎年度の事業完了後に基本目標と施策についての取り組み状況を外部有識者等の参画のもとに効果検証することにより、その検証結果を踏まえた施策の見直しや総合戦略の改訂を行うPDCAサイクルを確立し、総合戦略を着実に推進するために実施するものです。

2) 検証にあたっての着目点など

総合戦略の検証を進めるにあたって、次の着目点により検証を実施しました。

- ①総合戦略に掲げる「めざす姿」の実現に向けて、4つの基本目標の総合的な自己点検が実施され、事業の見直しも含めた今後の取り組みについてビジョンが明示されているか。

（めざす姿）

人と人がつながり、顔の見える関係のもと、いきいきと輝きながら活発に、地域をよくするため自分たちで考え、自分たちで行動して安心して暮らせる地域をつくり、そのもとで地域のコミュニティや文化、産業をつくれるまちとなっている。また、地域内経済循環の活性化につながる、人をはじめ自然、歴史など地域の誇りと地域資源を活かすことにより、「ひと」・「まち」・「しごと」のつながりの好循環により持続発展可能なまちとなっている。と」のつながりの好循環により

- ②施策の取り組みについて、基本目標および基本的方向性を踏まえた取り組み状況を自己点検し、今後の取り組みについてビジョンが明示されているか。
- ③施策の取り組みについて、施策の内容を十分に理解したうえで取り組み状況を自己点検し、今後の取り組みについてビジョンが明示されているか。
- ④施策の取り組みについて、重要業績評価指標（KPI）の実績だけでは計れない、取り組み内容の質的な充実ができていないか。

2. 検証方法

1) 施策の検証方法

施策の検証については、施策毎に取り組み状況等をまとめた「施策検証シート」を作成し、懇話会委員の合議性により検証を実施した。

「施策検証シート」の検証項目には、施策毎の目標値にあたる「重要業績評価指標（KPI）の達成度」だけでなく、施策の取り組み内容の質について検証を行うため、「施策の取り組み状況」、「施策の今後の取り組み」、「基本目標・基本的方向を踏まえた取り組み状況」、「基本目標・基本的方向を踏まえた今後の取り組み」を加えた5項目とした。

2) 施策の検証結果

検証結果については、30点満点とし、「施策の検証基準」に基づき、量的検証項目として重要業績評価指標（KPI）の達成度、質的検証項目として4項目の採点を行い、5項目の合計点数により5段階の検証結果とした。

【量的検証項目】・・・点数配分10点

量的な検証として、年度別の重要業績評価指標（KPI）の目標値に対する実績値の達成度を検証した。なお、重要業績評価指標（KPI）が複数設定されている施策については、平均点を点数とした。

検証による点数配分は、次のとおりである。

点数	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点
KPIの達成度	100%	100%未満～90%以上	90%未満～80%以上	80%未満～70%以上	70%未満～60%以上	60%未満～50%以上	50%未満～40%以上	40%未満～30%以上	30%未満～20%以上	20%未満～10%以上	10%未満～0%以上

年度別の重要業績評価指標（KPI）に関する検証結果を次のとおり5段階とした。

KPIの検証結果	重要業績評価指標（KPI）の達成度	重要業績評価指標（KPI）の検証点数
量S	100%～90%以上	10点～9点
量A	90%未満～70%以上	8点～7点
量B	70%未満～50%以上	6点～5点
量C	50%未満～30%以上	4点～3点
量D	30%未満～0%以上	2点～0点

【質的検証項目】・・・点数配分20点

「施策の取り組み状況」、「施策の今後の取り組み」、「基本目標・基本的方向を踏まえた取り組み状況」、「基本目標・基本的方向を踏まえた今後の取り組み」の4項目について検証を行った。

検証による点数配分は、次のとおりである。

検証項目	5点	4点	3点	2点	1点
【取り組み状況】 施策の内容を踏まえた取り組みと検証ができているか	施策の内容を十分に理解し、取り組みにより達成している	施策の内容を理解し、課題解決と達成に向け取り組みができている	施策の内容を理解し取り組みができている	概ね施策の内容を踏まえているが、取り組みが不十分	あまり施策の内容を踏まえて取り組めていない
【今後の取り組み】 今後の取り組みは、施策の内容を踏まえ、改善策等を明記しているか	施策の内容を十分に理解し、達成した取り組みを維持、または更に改善しようとしている	施策の内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	施策の内容を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	概ね施策の内容を踏まえているが、課題解決や達成に向けた取り組みが不十分	あまり施策の内容を踏まえず、課題解決や達成に向けた取り組みが示されていない
【取り組み状況】 基本目標と基本的方向を踏まえた取り組みと検証ができているか	基本目標と基本的方向を十分に理解し、取り組みにより達成している	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決と達成に向け取り組みができている	基本目標と基本的方向を理解し取り組みができている	概ね基本目標と基本的方向を踏まえているが、取り組みが不十分	あまり基本目標と基本的方向を踏まえて取り組めていない
【今後の取り組み】 今後の取り組みは、基本目標と基本的方向性を踏まえ、改善策等を明記しているか	基本目標と基本的方向を十分に理解し、達成した取り組みを維持、または更に改善しようとしている	基本目標と基本的方向を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	概ね基本目標と基本的方向を踏まえているが、課題解決や達成に向けた取り組みが不十分	あまり基本目標と基本的方向を踏まえず、課題解決や達成に向けた取り組みが示されていない

質的検証を行った4項目の合計点数により、質的な検証結果を次のとおり5段階とした。

質的検証結果	質的検証結果の内容	質的検証を行った4項目の合計点数
質S	内容を十分に理解し、取り組みにより達成している	20点～17点
質A	内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みができている	16点～13点
質B	内容を理解し、取り組みができている	12点～9点
質C	概ね内容を踏まえているが、取り組みが不十分	8点～5点
質D	あまり内容を踏まえて取り組めていない	4点～1点

【検証結果】

量的検証項目（KPI）および質的検証項目（4項目）の検証点数の合計点数により次のとおり、施策の検証結果とすることとした。

検証結果	検証結果内容	5項目の合計点数
S	目標を達成している	30点～25点
A	優れている	24点～19点
B	実施できている	18点～13点
C	工夫が必要	12点～7点
D	改善が必要	6点～1点

【施行策の検証基準】

日野町くらし安心ひとづくり総合戦略		施策の検証基準											
30点満点		達成		優		良		発展途上		改善が必要			
数量的検証	①	KPIの達成度 ※KPIが複数の場合は、平均点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点
		100%	100%未満～90%以上	90%未満～80%以上	80%未満～70%以上	70%未満～60%以上	60%未満～50%以上	50%未満～40%以上	40%未満～30%以上	30%未満～20%以上	20%未満～10%以上	10%未満～0%以上	
質的検証	②	検証観点	5点		4点		3点		2点		1点		
		【取り組み状況】 施策の内容を踏まえた取り組みと検証ができて いるか	施策の内容を十分に理解し、取り組みにより達成している	施策の内容を理解し、課題解決と達成に向け取り組みができています	施策の内容を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みができています	施策の内容を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みができています	概ね施策の内容を踏まえているが、取り組みが不十分	あまり施策の内容を踏まえて取り組めていない					
		【今後の取り組み】 今後の取り組みは、施策の内容を踏まえ、改善策等を明記しているか	施策の内容を十分に理解し、達成した取り組みを維持、または更に改善しようとしている	施策の内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	施策の内容を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	施策の内容を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	概ね施策の内容を踏まえているが、課題解決や達成に向けた取り組みが不十分	あまり施策の内容を踏まえず、課題解決や達成に向けた取り組みが示されていない					
		【取り組み状況】 基本目標と基本的方向を踏まえた取り組みと検証ができていますか	基本目標と基本的方向を十分に理解し、取り組みにより達成している	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決と達成に向け取り組みができています	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みができています	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みができています	概ね基本目標と基本的方向を踏まえているが、取り組みが不十分	あまり基本目標と基本的方向を踏まえて取り組めていない					
		【今後の取り組み】 今後の取り組みは、基本目標と基本的方向性を踏まえ、改善策等を明記しているか	基本目標と基本的方向を十分に理解し、達成した取り組みを維持、または更に改善しようとしている	基本目標と基本的方向を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	概ね基本目標と基本的方向を踏まえているが、課題解決や達成に向けた取り組みが不十分	あまり基本目標と基本的方向を踏まえず、課題解決や達成に向けた取り組みが示されていない					
合計検証点数													
													
合計検証点数		30点～25点	24点～19点	18点～13点	12点～7点	6点～1点							
⑥検証結果		S 目標を達成している	A 優れている	B 実施できている	C 工夫が必要	D 改善が必要							

3) 基本目標別の検証

基本目標の検証については、めざす姿の実現に向けて、基本目標別にまとめられた取り組み状況と今後の取り組み、基本目標を構成する施策の検証結果を踏まえ、総合的に基本目標を検証し、その検証内容をコメントとしてまとめた。

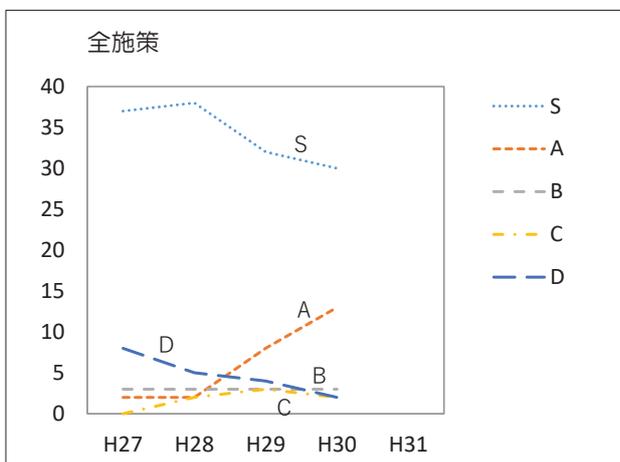
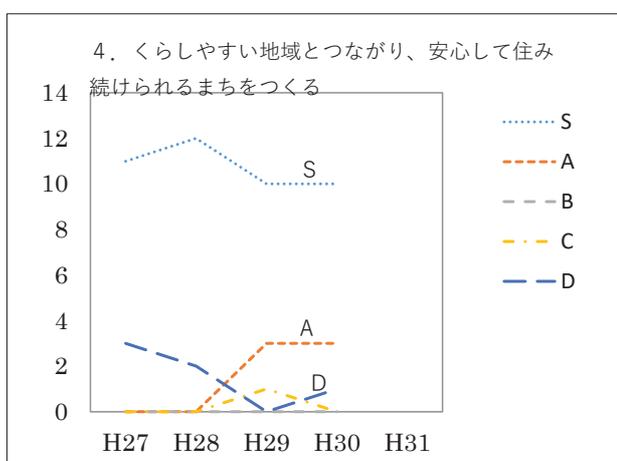
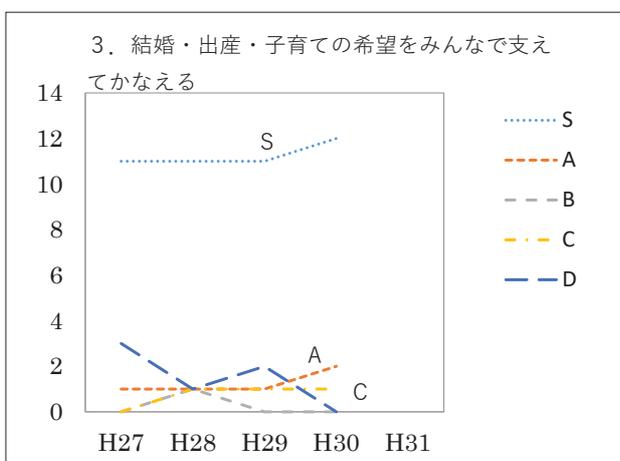
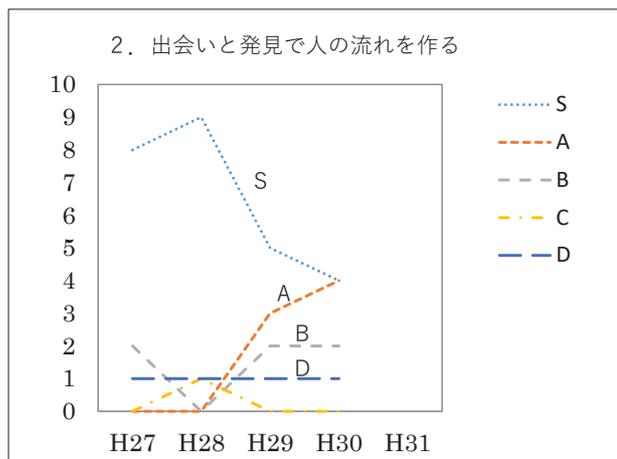
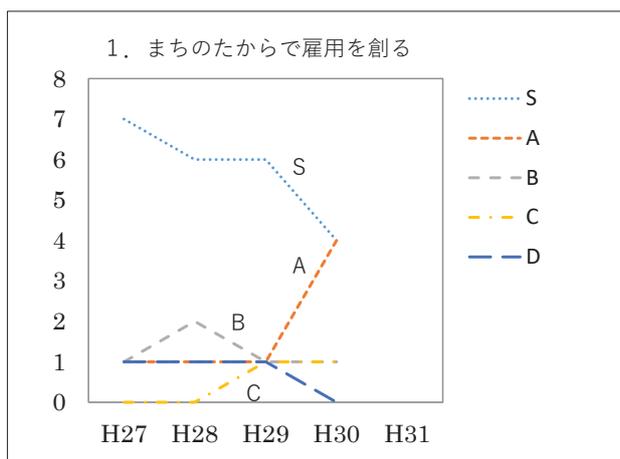
4) 地方創生交付金事業の検証

地方創生交付金事業の検証については、国から外部有識者による効果検証が求められていることから、総合計画懇話会で検証を行うこととした。効果検証については、重要業績評価指標（KPI）の達成度に加え、関連する施策の検証結果を踏まえ、事業として有効であったかを検証することとした。

3. 基本目標別検証結果

No.	基本目標	年度	検証結果					合計
			達成度 100%～90%以上	達成度 90%未満～70%以上	達成度 70%未満～50%以上	達成度 50%未満～30%以上	達成度 30%未満～0%以上	
			量S	量A	量B	量C	量D	
1	まちのたからで雇用を創る	H27	7	1	1	0	1	10
		H28	6	1	2	0	1	10
		H29	6	1	1	1	1	10
		H30	4	4	1	1	0	10
		H31						
2	出会いと発見で人の流れを作る	H27	8	0	2	0	1	11
		H28	9	0	0	1	1	11
		H29	5	3	2	0	1	11
		H30	4	4	2	0	1	11
		H31						
3	結婚・出産・子育ての希望をみんな で支えてかなえる	H27	11	1	0	0	3	15
		H28	11	1	1	1	1	15
		H29	11	1	0	1	2	15
		H30	12	2	0	1	0	15
		H31						
4	くらしやすい地域とつながり、安心 して住み続けられるまちをつくる	H27	11	0	0	0	3	14
		H28	12	0	0	0	2	14
		H29	10	3	0	1	0	14
		H30	10	3	0	0	1	14
		H31						
総合計		H27	37	2	3	0	8	50
		H28	38	2	3	2	5	50
		H29	32	8	3	3	4	50
		H30	30	13	3	2	2	50
		H31						

基本目標別量的（KPI）検証結果



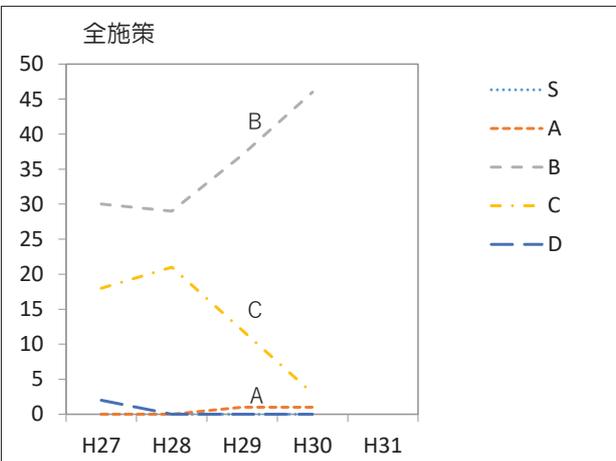
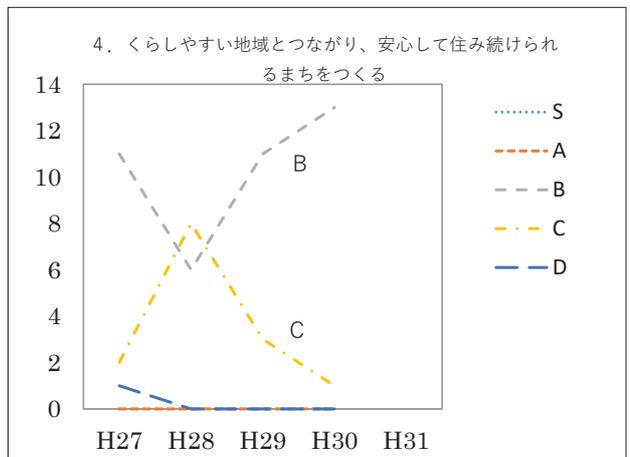
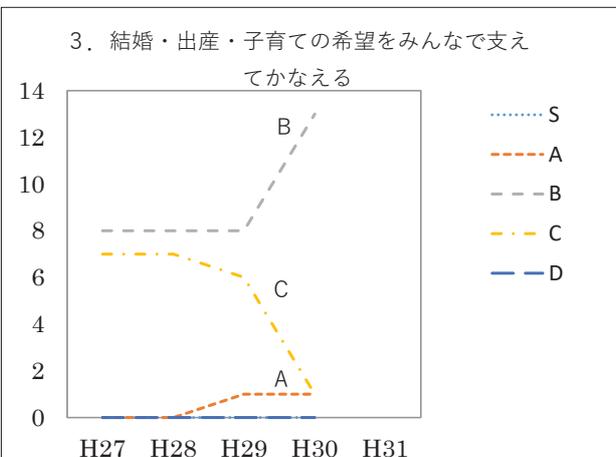
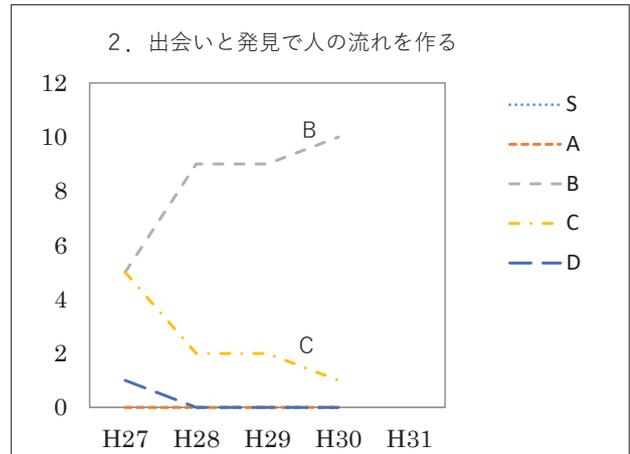
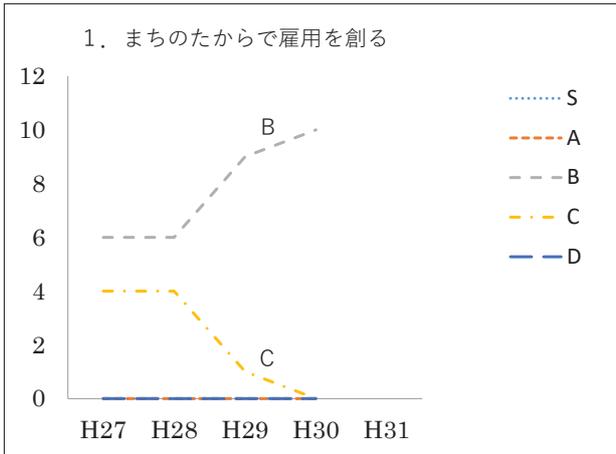
全施策の量的（KPI）検証結果では、量S（達成度100%～90%）が昨年度よりさらに2施策減って30施策となりました。依然最も多くなっていますが、量A（達成度90%～70%）が13施策と昨年度より5施策増え、全体的に評価は下がる傾向が続いています。

次いで、量B（達成度70%～50%）は3施策、量C（達成度50%～30%）、量D（達成度30%～0%）は2施策ずつとなり、達成度の低かった施策については、評価が上がりつつあります。

4年目に入り、目標達成をするのがさらに厳しくなっている状況が伺えます。

No.	基本目標	年度	検証結果					合計
			内容を十分に理解し、取り組みにより達成している	内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みができていく	内容を理解し、取り組みができていく	概ね内容を踏まえているが、取り組みが不十分	あまり内容を踏まえて取組めていない	
			質S	質A	質B	質C	質D	
1	まちのたからで雇用を創る	H27	0	0	6	4	0	10
		H28	0	0	6	4	0	10
		H29	0	0	9	1	0	10
		H30	0	0	10	0	0	10
		H31						
2	出会いと発見で人の流れを作る	H27	0	0	5	5	1	11
		H28	0	0	9	2	0	11
		H29	0	0	9	2	0	11
		H30	0	0	10	1	0	11
		H31						
3	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	H27	0	0	8	7	0	15
		H28	0	0	8	7	0	15
		H29	0	1	8	6	0	15
		H30	0	1	13	1	0	15
		H31						
4	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	H27	0	0	11	2	1	14
		H28	0	0	6	8	0	14
		H29	0	0	11	3	0	14
		H30	0	0	13	1	0	14
		H31						
総合計		H27	0	0	30	18	2	50
		H28	0	0	29	21	0	50
		H29	0	1	37	12	0	50
		H30	0	1	46	3	0	50
		H31						

基本目標別質的（取組内容）検証結果



全施策の質的（取組内容）検証結果では、質B（内容を理解し、取り組みできている）が昨年度より9施策増え、46施策となり、全体の90%以上を占めています。

次いで、質C（概ね内容を踏まえているが、取り組みが不十分）が昨年度より9施策減り、3施策となりました。また、昨年度に引き続き1施策が質A（内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みができている）となりました。

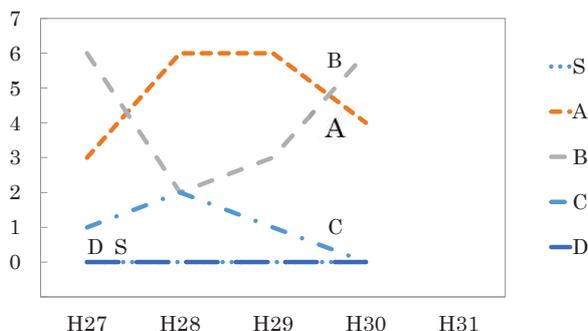
基本目標別の質的（取組内容）検証結果をみると、基本目標「まちのたからで雇用を創る」では、全ての施策が質B（内容を理解し、取り組みできている）となりました。

また、基本目標「出会いと発見で人の流れを作る」、「暮らしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる」では昨年度に引き続き、質B（内容を理解し、取り組みできている）が最も多くなっています。

基本目標 (1)	まちのたからで雇用を創る
まちの「たから」である「地域資源」を活かし、住民が主体となって取り組む創業による地域内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流と連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。	

重要業績評価指標 (KPI)								
指標名		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
1	創業件数	0 件	目標	3 件 (累計)	6 件 (累計)	9 件 (累計)	12 件 (累計)	15 件 (累計)
			実績	1 件 (累計)	1 件 (累計)	1 件 (累計)	1 件 (累計)	
			達成率	33.3%	16.7%	11.1%	8.3%	
2	町内企業への新規学卒就職者の町内在住者比率	21.2 %	目標	21.2 %	23.0 %	26.0 %	28.0 %	30.0 %
			実績	26.7 %	18.7 %	10.0 %	25.6 %	
			達成率	100.0%	81.3%	38.5%	91.4%	
講すべき施策に関する基本的方向		○「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持った人がつながる機会をつくり、創業と雇用結びつけます。 ○農業などを通じて「地域資源」を発見し、付加価値を生み出すことでブランド化、さらなる有効活用を生み出すことで雇用を創ります。 ○地元企業、商工会と連携を図り情報を発信することで、町内雇用の拡大を図ります。						
施策の検証結果状況	年度	目的を達成している	優れている	実施できている	工夫が必要	改善が必要	合計	
	H27	0	3	6	1	0	10	
	H28	0	6	2	2	0	10	
	H29	0	6	3	1	0	10	
	H30	0	4	6	0	0	10	
	H31							

1. まちのたからで雇用を創る



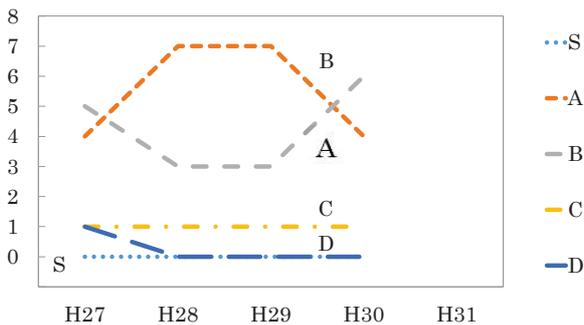
基本項目①「まちのたからで雇用を創る」を構成する施策の検証結果は、B（実施できている）が昨年度より3施策増え、6施策（60.0%）と最も多くなっています。次いで、A（優れている）が昨年度より2施策減り、4施策（40.0%）となっています。昨年度、C（工夫が必要）は1施策ありましたが、今年度は改善されていません。

基本目標に対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> 若者の就職相談窓口の設置や転職事情も踏まえ、町内企業への就職者の町内在住者比率がさらに伸びるよう努めてください。 創業は、近隣市町とも連携して取り組みの検討を行うとともに、チャレンジショップ等をしてみたいと思う人が気軽に受講できるような創業塾の実施も検討し、創業件数を伸ばすための研究を進めてください。 地域内経済循環を意識して施策を推進していくため、産業連関分析の手法を用いるなど現状を分析し、施策を進めてください。
--------------	---

基本目標 (2)	出会いと発見で人の流れを作る
まちの「だから」を活かし、観光などで「人と人」の出会いの機会をつくり、日野の魅力を伝えることで交流から移住・定住に結び付く、魅力あるまちをめざします。	

重要業績評価指標 (KPI)							
指標名	基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	H31
1 観光入込客数 (年間) 過去3年平均	625,667 人 (H24-H26)	目標	628,000 人 (H25-H27)	629,500 人 (H26-H28)	631,000 人 (H27-H29)	633,000 人 (H28-H30)	635,000 人 (H29-H31)
		実績	619,500 人 (H25-H27)	595,400 人 (H26-H28)	569,166 人 (H27-H29)	573,333 人 (H28-H30)	
		達成率	98.6%	94.6%	90.2%	90.6%	
2 転入者数 (住民基本台帳) 過去3年平均	678 人 (H24-H26)	目標	680 人 (H25-H27)	690 人 (H26-H28)	700 人 (H27-H29)	715 人 (H28-H30)	730 人 (H29-H31)
		実績	717 人 (H25-H27)	713 人 (H26-H28)	715 人 (H27-H29)	696 人 (H28-H30)	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	97.4%	
3 転出者数 (住民基本台帳) 過去3年平均	806 人 (H24-H26)	目標	800 人 (H25-H27)	780 人 (H26-H28)	760 人 (H27-H29)	730 人 (H28-H30)	710 人 (H29-H31)
		実績	843 人 (H25-H27)	820 人 (H26-H28)	801 人 (H27-H29)	766 人 (H28-H30)	
		達成率	94.9%	95.1%	94.6%	95.3%	
講ずべき施策に関する基本的方向	<p>○まちの「だから」である観光資源・田舎体験等の多様な交流を通じ、まちの魅力と住民の誇りを醸成することで、観光客や町外の住人が日野町に関心を持ち、住民との交流によりさらに関心が深まり、将来の移住につながるような情報発信や事業の拡充を図ります。</p> <p>○住民に日野町の良さを伝えることで、日野町に生まれてよかった、住んで良かったと思える地域への愛着を芽生えさせ、育てていくことにより定住を促進します。</p> <p>○移住希望者の視点に立ち、日野町での暮らしがイメージでき、移住を後押しできるような情報発信と支援の充実を図ります。</p> <p>○遊休地や空き地等が、移住と定住につながるよう利活用と情報発信を図ります。</p>						
施策の検証結果状況	年度	目的を達成している	優れている	実施できている	工夫が必要	改善が必要	合計
		S	A	B	C	D	
	H27	0	4	5	1	1	11
	H28	0	7	3	1	0	11
	H29	0	7	3	1	0	11
	H30	0	4	6	1	0	11
H31							

2. 出会いと発見で人の流れを作る



基本項目②「出会いと発見で人の流れを作る」を構成する施策の検証結果は、B (実施できている) が昨年度より3施策増え、6施策 (54.5%) と最も多くなっています。

次に、A (優れている) が昨年度より3施策減り、4施策 (36.4%)、C (工夫が必要) が昨年度に引き続き1施策 (9.1%) の順となっています。

基本目標に対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・日野のだからである「人とかかわり」を大切に、観光、スポーツ、多文化共生などまちの魅力を発信し、地域の住民自身が生きやすく、自慢できるようなまちづくりを進めてください。 ・移住の基礎になる空き家や空き地の活用に関わっては、それぞれの施策の課題が明らかになっています。その本質的な問題を解決するための検討が必要です。社会の変化に応じて、成果を出せるよう工夫してください。
--------------	---

基本目標 (3)	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる
地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々のニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。	

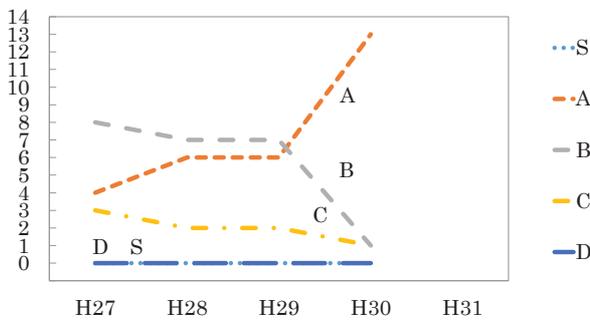
指標名		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
1	出生数（住民基本台帳）過去3年平均	180人 (H24-H26)	目標	179人 (H25-H27)	178人 (H26-H28)	177人 (H27-H29)	176人 (H28-H30)	175人 (H29-H31)
			実績	174人 (H25-H27)	174人 (H26-H28)	159人 (H27-H29)	156人 (H28-H30)	
			達成率	97.2%	97.8%	89.8%	88.8%	
2	合計特殊出生率	1.59 (H26独自推計)	目標	1.59	1.60	1.60	1.61	1.62
			実績	1.51	1.48	1.38		
			達成率	95.0%	92.5%	86.3%		

講すべき施策に関する基本的方向

○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。
 ○出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。
 ○子育てサポーター等、現状のサービスの充実や子育てに係る負担の軽減などを通じて、子ども・子育て支援の充実を図ります。
 ○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。

施策の検証結果状況	年度	目的を達成している	優れている	実施できている	工夫が必要	改善が必要	合計
		S	A	B	C	D	
	H27	0	4	8	3	0	15
	H28	0	6	7	2	0	15
	H29	0	6	7	2	0	15
	H30	0	13	1	1	0	15
	H31						

3. 結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる



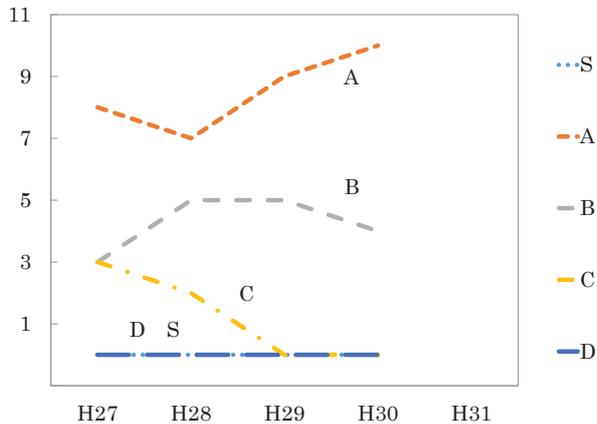
基本項目③「結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる」を構成する施策の検証結果は、A（優れている）が昨年度より7施策増え、13施策（86.6%）と最も多くなっています。
 次に、B（実施できている）が昨年度より6施策減り、1施策（6.7%）、C（工夫が必要）が昨年度より1施策減り、1施策（6.7%）となっています。

基本目標に対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> 結婚、出産、子育てが女性だけの役割ではなく、地域社会みんなの生きがいになるような意識の醸成を図り、それを支えるための生活のベースを安定させる支援に努めてください。 日野の女性が出産・子育てと就労の両方の道を選べるモデルとなる姿を見せることで、日本の社会全体を変える可能性があります。その可能性を開くためには、行政と企業がともにつくる取り組みが求められています。
--------------	---

基本目標 (4)	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる
家庭でのきずなはもとより、地域での人と人のつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのもとで安全で安心して住み続けられるまちをめざします。また、地域の力を活かした課題解決能力を高めることで、住民の活発な自治活動を持続発展させ、これまでの自治活動の見直しも含め、地域課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。	

重要業績評価指標 (KPI)							
指標名	基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	H31
1 人と人（複数の地域コミュニティ）をつなぐ場の創出	0ヶ所	目標	0ヶ所	5ヶ所	10ヶ所	15ヶ所	20ヶ所
		実績	2ヶ所	5ヶ所	11ヶ所	16ヶ所	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
講すべき施策に関する基本的方向	○地域での人と人のつながり（きずな）を育むため、地域の多様なコミュニティが連携する住民主体の活動を支援します。 ○人と場所と機会をつなぐ、人材・資源を発掘します。 ○住民主体の出会いの場づくりにより、地域に暮らす人同士の「おたがいさま」の助け合い、自分の「自慢」を持ち寄り、生きがいを持てる仕組みをつくります。 ○顔の見えるつながりの中で、「困りごとを出し合い、支えあう」など、地域のコミュニティ活動を支援します。 ○自治活動を基盤に、地域福祉活動の推進、子育て・介護・防犯・防災などの取り組みにより、安心・安全なまちづくりを推進します。						
施策の検証結果状況	年度	目的を達成している	優れている	実施できている	工夫が必要	改善が必要	合計
	H27	0	8	3	3	0	14
	H28	0	7	5	2	0	14
	H29	0	9	5	0	0	14
	H30	0	10	4	0	0	14
	H31						

4. くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる

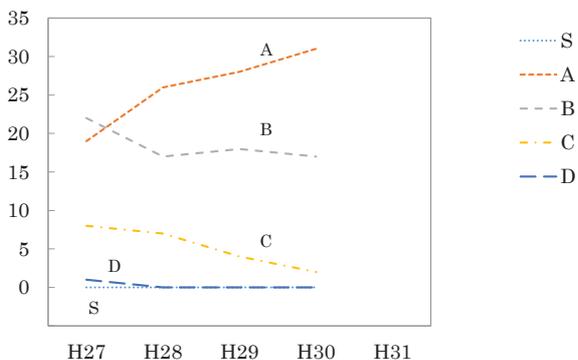


基本項目④「くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる」を構成する施策の検証結果は、A（優れている）が昨年度より1施策増え、10施策（71.4%）と最も多くなっています。次いで、B（実施できている）が昨年度より1施策減り、4施策（28.6%）となっています。

基本目標に対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座の機会を活かし、社会や地域へ主体的に関わる参画意欲を引き出す働きかけを意識的に行うことが大切です。 ・ 地域を支える自治会役員等には、これまでの伝統と新たな役割で疲弊感があり、人口規模や年齢構成の変化に応じた改革を考えていく必要があります。 ・ 自治会活動に対する「おたがいさま」の助け合いの気持ちを持って、責任感が芽生えるような工夫や次世代・若手を育てる意識を地域に持ってもらう働きかけが必要です。
--------------	--

No.	基本目標	内容		検証結果						検証委員からのコメント
				目的を達成している S	優れている A	実施できている B	工夫が必要 C	改善が必要 D	合計	
1	まちのたからで雇用を創る	まちの「たから」である「地域資源」を活かし、住民が主体となって取り組む創業による地域内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流と連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。	H27	0	3	6	1	0	10	<ul style="list-style-type: none"> 若者の就職相談窓口の設置や転職事情も踏まえ、町内企業への就職者の町内在住者比率がさらに伸びるよう努めてください。 創業は、近隣市町とも連携して取り組みの検討を行うとともに、チャレンジショップ等をしてみたいと思う人が気軽に受講できるような創業塾の実施も検討し、創業件数を伸ばすための研究を進めてください。 地域内経済循環を意識して施策を推進していくため、産業連関分析の手法を用いるなど現状を分析し、施策を進めてください。
			H28	0	6	2	2	0	10	
			H29	0	6	3	1	0	10	
			H30	0	4	6	0	0	10	
			H31							
2	出会いと発見で人の流れを作る	まちの「たから」を活かし、観光などで「人と人」の出会いの機会をつくり、日野の魅力を伝えることで交流から移住・定住に結び付き、魅力あるまちをめざします。	H27	0	4	5	1	1	11	<ul style="list-style-type: none"> 日野のたからである「人とのかわり」を大切に、観光、スポーツ、多文化共生などまちの魅力を発信し、地域の住民自身が生きやすく、自慢できるようなまちづくりを進めてください。 移住の基礎になる空き家や空き地の活用に関わっては、それぞれの施策の課題が明らかになっています。その本質的な問題を解決するための検討が必要です。社会の変化に応じて、成果を出せるよう工夫してください。
			H28	0	7	3	1	0	11	
			H29	0	7	3	1	0	11	
			H30	0	4	6	1	0	11	
			H31							
3	結婚・出産・子育ての希望をみんなで作ってかなえる	地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々ニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が産産や子育てに希望をもてるまちをめざします。	H27	0	4	8	3	0	15	<ul style="list-style-type: none"> 結婚、出産、子育てが女性だけの役割ではなく、地域社会みんなの生きがいになるような意識の醸成を図り、それを支えるための生活のペースを安定させる支援に努めてください。 日野の女性が産産・子育てと就労の両方の道を選べるモデルとなる姿を見せることで、日本の社会全体を変える可能性があります。その可能性を開くためには、行政と企業がともにつくる取り組みが求められています。
			H28	0	6	7	2	0	15	
			H29	0	6	7	2	0	15	
			H30	0	13	1	1	0	15	
			H31							
4	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	家庭でのきずなはもとより、地域での人と人のつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのもとで安全で安心して住み続けられるまちをめざします。また、地域の力を活かした課題解決能力を高めることで、住民の活発な自治活動を持続発展させ、これまでの自治活動の見直しも含め、地域課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。	H27	0	8	3	3	0	14	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座の機会を活かし、社会や地域へ主体的に関わる参画意欲を引き出す働きかけを意識的に行うことが大切です。 地域を支える自治会役員等には、これまでの伝統と新たな役割で疲労感があり、人口規模や年齢構成の変化に応じた改革を考えていくことが必要です。 自治会活動に対する「おたがいさま」の助け合いの気持ちを持って、責任感が芽生えるような工夫や次世代・若手を育てる意識を地域に持ってもらう働きかけが必要です。
			H28	0	7	5	2	0	14	
			H29	0	9	5	0	0	14	
			H30	0	10	4	0	0	14	
			H31							
総合計			H27	0	19	22	8	1	50	
			H28	0	26	17	7	0	50	
			H29	0	28	18	4	0	50	
			H30	0	31	17	2	0	50	
			H31							

全施策



総合戦略の全施策の検証結果では、A（優れている）がH29年度実績では28施策であったのに対し、H30年度実績では31施策になり、年々増加しています。

次に、B（実施できている）が17施策、C（工夫が必要）が2施策の順になっており、C（工夫が必要）は年々減少しています。

4. 施策検証結果一覧

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	検証点数
					量的検証	質的検証				検証結果
まちのだからで雇用を創る	1	創業・第2創業の促進	<ul style="list-style-type: none"> 創業塾での知識習得のほか、創業者や創業希望者を幅広く対象とした知識習得に限らない取り組みや新規創業者から刺激をもらえるような取り組みから創業やコミュニティビジネスへの展開につなげてください。 第2創業を促進するための取り組みについても、セミナーで呼びかけるなど具体的に進めるよう検討してください。 人口減少が進むなか、地元を育てる企業を誘致する視点で、将来を考えた魅力のある企業の誘致を進めてください。 	H27	10	2	2	1	1	16
				量S	質C				B	
				H28	6	2	2	2	2	14
				量B	質C				B	
				H29	4	3	2	2	2	13
				量C	質B				B	
	H30	5	3	2	2	2	14			
	量B	質B				B				
	2	地域内経済循環の推進	<ul style="list-style-type: none"> 民泊の受け入れや住宅リフォーム助成による経済波及効果の取り組みが、基本目標である雇用を創る取り組みとなるよう進めてください。 インバウンド（訪日外国人客）への農村生活体験の取り組みは、日野町の「心の国際化」が広がる取り組みであり、評価できます。 中小企業の要望を吸い上げ、中小企業を軸とした地域内経済循環の推進に取り組んでください。 	H27	8.5	2	1	1	1	13.5
				量A	質C				B	
				H28	10	3	4	2	2	21
				量S	質B				A	
				H29	9	4	3	2	2	20
				量S	質B				A	
	H30	10	3	3	3	3	22			
	量S	質B				A				
	3	企業誘致と企業・異業種間の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> まちの企業を紹介するのみならず、商品や構成、働き方改革によりさまざまな場面でクローズアップされる制度を掘り下げ、どこに魅力（だから）があるかわかりやすく発信するよう工夫してください。 町が積極的に企業情報を収集することが、企業への提案や情報発信のしやすさにつながることを意識して、企業間連携や異業種間交流の取り組みを進めてください。 	H27	5	2	3	2	2	14
				量B	質B				B	
				H28	5	2	2	2	1	12
				量B	質C				C	
				H29	6	2	2	1	2	13
量B				質C				B		
H30	7	3	3	2	2	17				
量A	質B				B					
4	魅力ある商店づくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ブランドがあって特産品が生まれるため、時間はかかるが「冠」をもって売り出し、ブランドを発信していくことが効果的な販促につながります。 特産物の技術を応用し、新しい商品を開発する等、次の展開を進めるための意欲を高める仕掛けが必要です。 	H27	9	3	2	2	2	18	
			量S	質B				B		
			H28	9	3	3	2	2	19	
			量S	質B				A		
			H29	9	3	3	2	2	19	
			量S	質B				A		
H30	9	3	3	2	2	19				
量S	質B				A					
5	農業経営体の育成	<ul style="list-style-type: none"> 2名が認定新規就農者の認定を受けられたことは成果ですが、新規就農者を定着させるには、スキルアップできる期間と生活していける自信をつける期間を考えると大切であり、その仕組みづくりが必要です。 就農者の担い手不足の課題もあり、「人・農地プラン」をさらに広げるためには、地区同士の情報共有や先遣地視察の機会などを設け、農業の活性化に努めてください。 「人・農地プラン」の必要性を集落営農組織へ積極的に働きかけ、地域（集落）を守る視点で地域農業を次の世代につなぐよう努めてください。 	H27	10	3	3	3	3	22	
			量S	質B				A		
			H28	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
			H29	10	3	2	2	3	20	
			量S	質B				A		
H30	8	3	2	3	2	18				
量A	質B				B					

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
					量的検証	質的検証				検証結果
まちのだからで雇用を創る	6	地元野菜生産者の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> 生産される野菜の品目等を定点観測などで把握し、農家への情報提供を図ることで、地域での多品目化や野菜生産の意欲向上に努めてください。 「農」に携わる人が、マルシェや青空市場などでの地産地消につながる販売経験を通じて、地域内経済循環の活性化をし、野菜生産の拡大を図れるような仕組みづくりに努めてください。 自家栽培されている人が野菜に親しみをもち、「農」が生きがいになるような、担い手のすそ野を広げること意識した取り組みを進めてください。 	H27	10	2	2	3	3	20
				量S	質B				A	
				H28	9	4	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	10	3	3	3	2	21
				量S	質B				A	
	H30	9	4	3	3	2	21			
	量S	質B				A				
	7	日野菜のブランド化の促進	<ul style="list-style-type: none"> 日野菜の利活用のPRの一環として、小学校での取り組みなどは継続しつつ、健康効果をPRするなど工夫して出荷拡大に努めてください。 自家栽培されている人も含め、まちの文化としてすそ野を広げ、文化を伝承していくことが大切です。 地名がつく日野菜を、まちの看板として取り組みを進めてください。 	H27	9.5	2	2	2	2	17.5
				量S	質C				B	
				H28	8	3	3	3	3	20
				量A	質B				A	
				H29	7	3	3	3	2	18
				量A	質B				B	
	H30	7	3	2	3	2	17			
	量A	質B				B				
	8	獣肉の利活用を促進	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食への鹿肉カレーの提供など、シビエや獣害、命の尊さに対する理解が深まるような取り組みは大切であり、引き続き取り組みを進めてください。 	H27	10	2	2	2	3	19
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	3	2	21
				量S	質B				A	
				H29	10	3	2	2	2	19
				量S	質B				A	
	H30	10	3	2	2	2	19			
	量S	質B				A				
9	若者等の就職相談窓口の整備	<ul style="list-style-type: none"> 日野高校と連携した講演会が定着してきたのは大きな成果であり、若者へのキャリア教育を進める上で、日野町での暮らしの良さを伝え、どのような人があえて地元の企業で就職すること、地元で住むことを選択するのか考えてさらなる取り組みを進めてください。 若者へのキャリア教育は、高卒者のキャリア選択のみならず、地元に戻ってくるために育てる面もあり、転職市場にも力を入れるなど検討してください。 	H27	0	3	2	2	2	9	
			量D	質B				C		
			H28	0	2	2	2	2	8	
			量D	質C				C		
			H29	0	3	3	3	3	12	
			量D	質B				C		
H30	4	3	2	3	2	14				
量C	質B				B					
10	高齢者の生きがい創出	<ul style="list-style-type: none"> 生きがいの充実や社会参加の促進に向けた取り組みを高齢者だけに限らず、幅を広げて理解されるよう進めてください。 自信を持ってできることを仕事以外に創出することが喜びになり、まちの人材につながるような取り組みを進めてください。 人づくりは若者の能力開発を長期的な視点でおこなっていくことが必要であり、まちづくりに関わろうとする意識を子どもときから育て、それが文化、伝統となるように仕掛けることが大切です。 	H27	10	2	2	2	2	18	
			量S	質C				B		
			H28	10	2	2	2	2	18	
			量S	質C				B		
			H29	9	3	3	3	3	21	
			量S	質B				A		
H30	8	3	2	3	2	18				
量A	質B				B					

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
					量的検証	質的検証				検証結果
出会いと発見で人の流れを作る	1	体験型観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> 農村生活体験を地元小中学生に拡大する前向きな取り組みを「心の教育」として教育委員会部局と連携し、取り組みを進めてください。 近江日野商人の教えを家庭教育的、生涯学習的な教えとしても仕掛けることができるよう、関係機関との連携し、取り組みを進めてください。 農村生活体験から移住・定住につなげるためには、移住希望者がスキルアップし、まちで生活していく自信をつける準備期間について考えることが大切であり、その仕組みづくりが必要です。 	H27	5.3	2	1	1	1	10.3
				量B	質C				C	
				H28	10	4	3	2	2	21
				量S	質B				A	
				H29	8	3	3	3	3	20
				量A	質B				A	
	H30	7	3	3	3	2	18			
	量A	質B				B				
	2	観光受入体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> まちの魅力を発信している成果はありますが、住民の力を引き出し、観光ボランティアの活性化を図るには、住民主体での取り組みを進める意識の醸成が必要です。 日野高校の生徒を対象とした講演会のほかにも、カルチャー教室や通学合宿等の機会を活用し、まちの魅力と住民の誇りを醸成する取り組みにつながるよう、生涯学習の視点で関係機関との連携を深めてください。 	H27	10	3	3	3	3	22
				量S	質B				A	
				H28	9	2	3	1	2	17
				量S	質C				B	
				H29	8	3	3	3	3	20
				量A	質B				A	
	H30	6	3	3	2	2	16			
	量B	質B				B				
	3	日野の「たから」情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> 日野大当番仲間の仕組みづくりは、だれが戦略的に考えるか決め、労力と利点を比較し、日野町の規模でどこまで「出来る」「やるべき」を検討してください。 情報発信にはリスク管理も伴うものの、ホームページの充実や年齢層によって発信ツールを変え、積極的に発信することが大切です。 	H27	5	3	3	2	2	15
				量B	質B				B	
				H28	4	2	3	2	2	13
				量C	質B				B	
H29				5	2	2	2	2	13	
量B				質C				B		
H30	5	3	3	2	2	15				
量B	質B				B					
4	日野の「たから」の伝承促進	<ul style="list-style-type: none"> 日野の「たから」（大切な資産）も整理しておかないと良さが伝わらないため、日野の「たから」の魅力を伝えるための工夫が必要です。 日野商人の教えである「三方よし」の精神とともに、最前線の情報を収集できる力を持っていただくことを誇りにできるような仕掛けづくりを進めてください。 	H27	10	2	2	2	1	17	
			量S	質C				B		
			H28	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
			H29	10	3	3	3	3	22	
			量S	質B				A		
H30	10	3	3	3	3	22				
量S	質B				A					
5	伝統文化等後継者育成の促進	<ul style="list-style-type: none"> 町主催の伝統文化、歴史に関する事業を推進するだけでなく、地域（公民館）独自で開催される事業へ町がどのように関わり、促進につなげていくか工夫してください。 大人（保護者）が子どもたちの頑張り、成長を見届けられるような取り組みや働きかけが必要です。 	H27	10	2	1	2	1	16	
			量S	質C				B		
			H28	10	2	2	2	1	17	
			量S	質C				B		
			H29	10	3	3	3	2	21	
			量S	質B				A		
H30	10	3	2	3	2	20				
量S	質B				A					

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
					量的検証	質的検証				検証結果
出会いと発見で人の流れを作る	6	生涯学習の機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 公民館事業は住民と公民館との関係づくりだけでなく、住民に社会教育への意義を知ってもらい、住民自身の暮らしに核ざした取り組みにしていくことが大切です。 これまで公民館事業に参加したことがない人も公民館事業を通して、公民館につながり、次世代の担い手となるよう展開してください。 	H27	10	1	2	1	2	16
				量S	質C				B	
				H28	10	3	3	2	1	19
				量S	質B				A	
				H29	10	3	2	2	2	19
				量S	質B				A	
	H30	8	3	3	3	3	20			
	量A	質B				A				
	7	定住支援相談窓口の整備	<ul style="list-style-type: none"> 移住者の日野に来るといことへの気持ちと地域の受け入れる覚悟をそれぞれ持たせることが大切であり、それを制度とまちの魅力で支えられるよう取り組みを進めてください。 今抱えている課題を解決するとともに、日野でしかできないこと、日野だからできることを捉え、まちの魅力として情報発信していくことが大切です。 	H27	10	3	3	3	2	21
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	5	3	2	3	3	16
				量B	質B				B	
	H30	8	3	3	2	2	18			
	量A	質B				B				
	8	空き家を活用した定住促進	<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策は、移住希望者へ日野町での暮らしのイメージを持たせること、移住者を受け入れる地域の促しを進めるとともに、複雑な制度設計の課題を改善し、取り組みが進むよう働きかけることが必要です。 	H27	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	3	3	22
				量S	質B				A	
				H29	10	3	3	3	3	22
				量S	質B				A	
	H30	9	3	3	2	2	19			
	量S	質B				A				
9	空き地等を活用した定住促進	<ul style="list-style-type: none"> 空き地対策は、田畑の放棄、山の所有権も含め、既存の制度や仕組みでは解決せず、多くの市町村で課題となっていると思われるため、周辺事情を調査し、規制緩和について国や県へ働きかけを行うとともに地元企業との連携を深め、取り組みを進めてください。 	H27	0	2	2	1	1	6	
			量D	質C				D		
			H28	0	2	2	3	3	10	
			量D	質B				C		
			H29	0	3	3	3	3	12	
			量D	質B				C		
H30	0	4	3	2	2	11				
量D	質B				C					
10	多文化共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> 語学講座で学んだものを活かすことが、外国人の日本に対する印象を変え、日本人の多文化理解にもつながるため、ボランティアや多文化共生の最前線で受講者の力が活かせる取り組みを進めてください。 外国人の力を活かせる場にも課題があり、サロンづくりなどのコミュニティ活動を通じて異文化（外国人）に敬意を持つことが学びにつながり、普段のネットワークづくりに発展させることが大切です。 	H27	9	3	3	2	2	19	
			量S	質B				A		
			H28	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
			H29	10	3	3	3	3	22	
			量S	質B				A		
H30	10	2	2	2	2	18				
量S	質C				B					

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
					量的検証	質的検証				検証結果
出会いと発見で人の流れを作る	11	スポーツによる交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に楽しめるスポーツを推進することは、高齢者には居場所づくりに、学生には交流することへの興味、関心を持つきっかけになるため、地域と関係組織のさらなる連携を図り、人と人の出会いの場づくりを積極的に推進してください。 ・スポーツにより交流を促進することの目的や目標を明確にし、社会体育の視点で取り組みを進めてください。 ・スポーツは人とのつながりの起点のひとつであり、ほかのさまざまな起点とともに、学びを深め、絆や仲間意識をはぐくみ、まちづくりにつなげていくことが大切です。 	H27	9	1	1	1	1	13
				量S	質D				B	
				H28	10	3	2	2	2	19
				量S	質B				A	
				H29	8	2	2	2	2	16
				量A	質C				B	
H30	7	3	3	2	2	17				
量A	質B				B					

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	検証結果
					量的検証	質的検証				
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	1	出会いの場の創出	<ul style="list-style-type: none"> 地域のつながりを深めるなかで地域の課題に対して取り組みをしていることは評価できます。 婚活の取り組みを考えることをきっかけに、まちづくりを考えるなかまを増やすことにつなげてください。 	H27	9	2	2	1	3	17
				量S	質C				B	
				H28	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B	
				H29	10	3	2	2	2	19
				量S	質B				A	
	2	産み育てやすい環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> つながりを持ちにくい方でも、母子手帳の発行するときに絶好の機会と捉え、その場で情報収集をするだけでなく、地域や庁の制度にあるあらゆる支援体制をアピールし、信頼関係を築くよう努めてください。 子育て情報は、顔の見える関係でなくても、若い世代に有効なLINE等のSNSを活用した情報発信を検討してください。 出産や子育ての知識の有り無しが、母子の健康のためにどのような影響があるのか調査し、その対策として事業を進めてください。 	H27	10	3	2	2	1	18
				量S	質C				B	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	9	3	3	2	2	19
				量S	質B				A	
	3	乳幼児健診における保健指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 母子手帳を渡したときから、人生のなかで役場とつながるという意識を持ち、妊娠期から親の意識を醸成し、親子で生活習慣を変えていく仕組みづくりを進めてください。 大きな問題につながるまでに水際で防げるよう、虐待予防の支援体制を整え、切れ目のない支援を目指すための取り組みを実践してください。 	H27	9	2	2	2	1	16
				量S	質C				B	
				H28	9	2	2	2	2	17
				量S	質C				B	
				H29	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B	
	4	保育所の整備	<ul style="list-style-type: none"> 地域の高齢者を活かした保育補助は、保育士の荷重緩和のほか、介護予防や高齢者の自主的な活動にもつながり、効果のある取り組みであると評価できます。 地域の高齢者を活かした保育補助は、高齢者から幼児、児童が学ぶことも多いため、保育所だけでなく、学童保育等でも実践できるよう、地域の支え合いの仕組みづくりを進めてください。 	H27	8	3	3	2	2	18
				量A	質B				B	
				H28	10	3	3	3	3	22
量S				質B				A		
H29				10	3	4	2	2	21	
量S				質B				A		
5	子育て期間中の保護者の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> 孤独感、不安感を抱えた親子が地域とつながるような支援ができていないことが課題であり、有償ボランティア等の活用も含め検討が必要です。 若い世代がライフスタイルとして、自分たちの居場所をつくる習慣が生まれるような取り組みが進められるよう、女性活躍支援施設を活用してください。 	H27	10	2	1	2	2	17	
			量S	質C				B		
			H28	10	2	2	2	2	18	
			量S	質C				B		
			H29	10	2	2	2	2	18	
			量S	質C				B		
H30	量S	質A				A				
		9	3	3	4	2	21			
量S	質B				A					

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	検証点数
					量的検証	質的検証				検証結果
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	6	子育て支援員の確保	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯の多くには多種多様で複雑な課題があり、子育て支援員に専門的な対応も問われているため、支援員をフォローしていく体制づくりが必要です。 子育て支援員の後継者を作るためには、より多くの支援員を確保するため視野を広げることも大切であり、支援員が幅広く継続して活動できるような体制づくりを進めてください。 	H27	10	1	3	1	2	17
				量S	質C				B	
				H28	7	2	2	2	2	15
				量A	質C				B	
				H29	9	2	2	2	2	17
				量S	質C				B	
	H30	10	3	2	3	2	20			
	量S	質B				A				
	7	ファミリーサポートセンターの整備	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポート事業での預かり業務を増やしていくには、保育経験で自信を高める必要があります、保育体験を通して人材を育成していくことが大切です。 ファミリーサポートセンターのサービスを受けた依頼会員が、支援する側の協力会員になるサイクルの構築から生まれる地域のつながりやまちづくりにつながる視点を持って取り組みを進めてください。 	H27	0	3	3	2	2	10
				量D	質B				C	
				H28	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B	
				H29	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B	
	H30	10	4	2	3	3	22			
	量S	質B				A				
	8	交流できる場の充実	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍支援施設での取り組みは、住民主体によるプログラムを早い段階で検討し、日常的な活動の中から住民の意見が反映された取り組みを進め、住民の力量が引き出せるような機会となるよう工夫してください。 子育て支援だけでなく、あらゆる場面で活躍できるような人材の発掘につながるよう、関係部署の連携を通じて、一貫した取り組みを進めてください。 	H27	0	1	2	2	3	8
				量D	質C				C	
				H28	0	2	2	2	2	8
				量D	質C				C	
				H29	0	3	3	3	3	12
				量D	質B				C	
	H30	10	2	2	2	2	18			
	量S	質C				B				
	9	福祉医療制度の実施	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標の達成に留まらず、子どもの成長を保障する施策の質を考え、全体の子育て支援施策に視野を広げることが大切です。 全体の子育て支援施策のなかで、限られた財源のうち福祉医療制度にどの程度充てるのか共通認識を持ち、より良い取り組みとなるよう進めてください。 	H27	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	10	4	4	2	2	22
				量S	質B				A	
H30	10	3	3	2	2	20				
量S	質B				A					
10	障がい児の支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを取り巻く環境が多様化していることを広く理解し、支援していくことが大切であり、関係機関とのネットワークをより一層強めてください。 障がいの程度や種別によって、不安が生じないよう切れ目なく支援していくことが必要であり、行政の施策のなかで、地域のつながりを生かす視点をもち、取り組みを進めてください。 	H27	0	2	3	3	3	11	
			量D	質B				C		
			H28	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
			H29	1	2	2	2	2	9	
			量D	質C				C		
H30	10	3	3	2	2	20				
量S	質B				A					

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	検証結果
					量的検証	質的検証				
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	11	子どもの読書活動推進	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の雰囲気づくりのためには、親（祖父母）に連れられて来館する園児たちの人数を把握することも大切です。 第4次日野町子ども読書活動推進計画は、子どものほかにも、保護者が図書館を使うきっかけづくり、ボランティアの活用など子どもの環境を取り巻く大人への働きかけについても考え、まちづくりの基礎となるよう検討してください。 	H27	10	2	3	2	2	19
				量S	質B				A	
				H28	9	3	2	3	3	20
				量S	質B				A	
				H29	9	3	3	4	4	23
				量S	質A				A	
	H30	8	3	3	3	3	20			
	量A	質B				A				
	12	働きやすい職場環境の推進	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革を進めていくには、有給休暇や育児休業等の法律に規定されている範囲だけでなく、企業が独自の制度や取り組みをどのように考えているのか聞き取り、拡充を進めるためのバックアップができる取り組みが必要です。 	H27	10	2	3	2	2	19
				量S	質B				A	
				H28	9	2	2	1	1	15
				量S	質C				B	
				H29	9	3	3	2	2	19
				量S	質B				A	
	H30	8	3	3	2	3	19			
	量A	質B				A				
	13	学童保育所の整備	<ul style="list-style-type: none"> 高校生のアルバイトを活用することが、学童の成長、高校生自身の成長、ひいてはまちづくり全体に与える影響を考え、次世代育成の視点を持って工夫していくことが必要です。 若い世代と高齢者の間にある、地域との関わりに対する考え方の違いを、南比都佐地区学童の高齢者入所施設との連携等を通じて、徐々に打ち解けられるよう取り組みを進めてください。 	H27	10	2	1	2	2	17
				量S	質C				B	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	10	2	2	2	2	18
量S				質C				B		
H30	10	4	3	3	2	22				
量S	質B				A					
14	児童・生徒の自主的学習支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学習機会の提供数は増えていますが、一人ひとりの学力に合った学習への取り組みが必要であり、回答の傾向を分析し、スクリーニングする工夫や視点を引き出し、指導者の意欲が高まる仕組みづくりを検討してください。 学力向上のための指導に加えて、子どもたち自身がまちの魅力を発見し、自分たちの住むまちに誇りが持てる学習に取り組むことが大切です。 子どもたちに先輩の姿を見せることで、その姿に学ぶ子どもたちが町に関心を持つ取り組みにつなげてください。 	H27	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
			H28	5	3	3	2	2	15	
			量B	質B				B		
			H29	7	3	3	2	2	17	
			量A	質B				B		
H30	10	3	3	3	2	21				
量S	質B				A					
15	奨学金制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金制度を周知するとともに、利用を促すためにも現在の貸与金額、条件が妥当なのか調査、研究し、検討する必要があります。 奨学金は、町民の生活実態をおさえ、進路の選択肢を広げるために、給付型の奨学金制度も含めて考えてください。 	H27	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
			H28	3	3	2	2	2	12	
			量C	質B				C		
			H29	4	3	3	2	3	15	
			量C	質B				B		
H30	3	3	2	2	2	12				
量C	質B				C					

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	検証点数
					量的検証	質的検証				検証結果
くらしやすい地域をつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	1	進取のまちの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくりについての話し合いだけではなく、住民自らが行動できるよう支援していくために、課題を出し合い、どのように解決するか、自治会の力を引き出していくための工夫が必要です。 地域のリーダーを誰でもできるようにするために、時代に合わせた仕組みを作り、人を育てていくことが大切です。 	H27	10	3	3	3	3	22
				量S	質B				A	
				H28	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B	
				H29	9	3	3	2	2	19
				量S	質B				A	
	H30	8	3	3	2	2	18			
	量A	質B				B				
	2	地域福祉活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 住民主体の活動を進めていくには「まちのだから」である住民の力（長所）が必要とされていることを実感し、生かすことを考えていく視点で働きかけていくことが必要です。 地域住民の活動を進めることが、まちの方針（総合計画）のなかでどのように位置づけできるかを意識して取り組み、活動意義を住民へ働きかけてください。 	H27	9.6	2	1	2	1	15.6
				量S	質C				B	
				H28	9	3	3	1	1	17
				量S	質C				B	
				H29	9	3	3	2	2	19
				量S	質B				A	
	H30	9	3	3	2	2	19			
	量S	質B				A				
	3	ボランティア団体の組織化の促進	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育のなかでボランティアの精神を育てていくことが求められており、ボランティアを「押し付けられた」感が残らないよう、ボランティアの意義、ボランティアの効果を伝えるよう工夫してください。 地域での自主活動を促進するには、まちのことに関わる機会を作り、日常的にまちと関わっているという気持ちを持たせる工夫が必要です。 	H27	10	1	1	1	1	14
				量S	質D				B	
				H28	10	2	2	1	1	16
				量S	質C				B	
				H29	9	3	2	2	2	18
量S				質B				B		
H30	10	3	2	2	2	19				
量S	質B				A					
4	コミュニティビジネスの創出	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題に対して取り組みをしている団体等に、コミュニティビジネスを意識して取り組みができるような啓発が必要です。 自分の自慢を持ち寄れるような青空市場やマルシェ等をきっかけに住民の力を引き出し、地域課題への取り組みや生きがい創出への仕組みづくりを具体化できるよう働きかけ、今後の施策を考える手がかりとしてください。 	H27	0	2	3	2	2	9	
			量D	質B				C		
			H28	0	2	2	2	2	8	
			量D	質C				C		
			H29	10	3	3	2	3	21	
			量S	質B				A		
H30	10	3	3	3	2	21				
量S	質B				A					
5	異分野・多世代交流の創出	<ul style="list-style-type: none"> 公民館事業への参加は、まちとの関わりのきっかけであり、まちづくりのために力を発揮できる人材を育成するための仕掛けやタイミングをつくることが大切です。 伝統、文化を守り、繋いでいく生涯学習は、まちづくりの基礎、中核となるものであり、取り組みを進めていくには、今後の展開等について具体的なイメージを描くことが必要です。 	H27	0	2	2	2	3	9	
			量D	質B				C		
			H28	10	3	2	3	2	20	
			量S	質B				A		
			H29	3	3	3	3	3	15	
			量C	質B				B		
H30	2	3	3	3	3	14				
量D	質B				B					

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
					量的検証	質的検証				検証結果
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	6	学びの機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 日野町では「人権と福祉ふれあいのまちづくり」を推進してきたことを踏まえ、住民が主体となり地域のなかで暮らしやすくするために考えてもらえるような動きかけを検討していくことが必要です。 住民の半分は女性であり、宇別懇談会への女性の参加が働きかけられるよう現状分析し、懇談会で話すテーマのひとつに女性も話しやすいテーマを追加するなど男女共同参画の視点で進めてください。 図書館でのレファレンス回答集のデータベース化等の知的な取り組みはさらに推進してください。 	H27	9.6	3	3	3	2	20.6
				量S	質B				A	
				H28	9	3	3	3	2	20
				量S	質B				A	
				H29	8	3	3	3	2	19
				量A	質B				A	
	H30	8	3	3	3	3	20			
	量A	質B				A				
	7	農林業を活かした中間就労の創出	<ul style="list-style-type: none"> 中間就労の場を発展させるため、魅力のある取り組みを地域に働きかけ、まちづくりの視点で取り組みを進めてください。 就労者（当事者）が生きがいを持って働くとともに、支援者も、地域にもやりがいを持てるよう、農林業の課題を共有しつつ働きかけることが必要です。 	H27	0	2	2	2	2	8
				量D	質C				C	
				H28	0	3	3	1	1	8
				量D	質C				C	
				H29	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B	
	H30	10	2	2	1	1	16			
	量S	質C				B				
	8	障がい者の就労促進	<ul style="list-style-type: none"> 既存の制度や仕組みだけでなく、住民の主体性という視点で、力（長所）を引き出す可能性を探っていくことが必要です。 	H27	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
	H30	10	3	3	2	2	20			
	量S	質B				A				
9	障がい福祉サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域で支えあって暮らししていくという意識の啓発に努め、障がい者支援の取り組みを進めてください。 公の制度も整ってきており、公の支援を受けることが恥ずかしいことではないことを認識してもらえよう啓発してください。 全てのニーズに応じて公の支援ができるわけではないため、地域で支えあって暮らし続けるまちとなるためにすべきことを検討してください。 	H27	10	3	2	2	2	19	
			量S	質B				A		
			H28	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
			H29	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
H30	10	3	3	3	3	22				
量S	質B				A					
10	介護予防の促進・高齢者の自主的な活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 住民有志の活動をさらに広げるためには、やらなければならないことをするだけでなく、住民の力（長所）を生かす視点で働きかけ、住民の力を発揮する場を作っていくことが大切です。 いまの取り組みを長く続けるという視点だけでなく、子育て世代から地域の中で居場所ができ、自分たちで地域の課題を解決していく慣習をつくり、高齢者となった時も自分たちで解決するしくみをつくるような取り組みとなるよう工夫してください。 	H27	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
			H28	9	3	3	2	3	20	
			量S	質B				A		
			H29	8	2	2	2	2	16	
			量A	質C				B		
H30	10	3	3	2	2	20				
量S	質B				A					

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
					量的検証	質的検証				検証結果
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	11	犯罪・事故のないまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 住民主体の活動には、情報提供だけでなく情報交換の場を設け、自分たちで考えて活動を進めるしくみが必要です。 実施主体の構成員が減っており、これまでの啓発中心の施策だけでなく、住民自らが主体性を持って活動できるような仕組みづくりを検討してください。 	H27	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	10	3	2	2	2	19
				量S	質B				A	
	H30	10	3	3	2	2	20			
	量S	質B				A				
	12	消防団活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の活動を支えていくために団員の定数や活動など抜本的に見直すとともに、国や県と連携し、企業への理解が得られるような働きかけを進めてください。 消防団員への準公務員としての自覚を促すような働きかけも必要です。 	H27	10	3	3	3	2	21
				量S	質B				A	
				H28	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B	
				H29	10	2	3	2	2	19
				量S	質B				A	
	H30	10	2	3	2	3	20			
	量S	質B				A				
	13	自主防災組織の育成	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の組織化を進めるため、自治会が主体となって議論する場を設ける等、住民の主体性を引き出していただく工夫してください。 町が育成する防災士と地域（自主防災組織）の防災士が連携を進め、地域の力を生かした活動を進めてください。 	H27	10	2	3	2	2	19
				量S	質B				A	
				H28	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B	
				H29	8	2	2	2	2	16
				量A	質C				B	
	H30	8	3	3	2	2	18			
	量A	質B				B				
14	公共交通の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通は、供給に合わせた需要が大切で、バス等の運行に合った暮らし方に合わせる事が求められており、そのような仕組みづくりをしていくことが大切です。 公共交通に対する要望を聞くだけでなく、限りあるものをみんなが活用するために、一緒に考える場を設ける等の取り組みに転換していくことが大切です。 低床車両が外出するきっかけとなっているのはよい効果であり、今後はバスの利用が生きがいとまちのつながりをつくることを期待します。 	H27	9	2	3	2	2	18	
			量S	質B				B		
			H28	9	2	2	2	2	17	
			量S	質C				B		
			H29	9	3	3	3	3	21	
			量S	質B				A		
H30	9	3	3	3	3	21				
量S	質B				A					